

1-1 市の位置

市役所の位置	市の大きさ
東 経 137度 2分 7秒	面積 21.03km ²
北 緯 35度12分59秒	標高 海拔130m (最高)
(世界測地系による)	東西最長 5.7km
	南北最長 5.6km

尾張旭市は、愛知県の北西部、濃尾平野の東部にあり、尾張丘陵とこれを開析した矢田川の流域に広がっています。東部に瀬戸市、西部及び北部に名古屋市、南部に長久手市と接し、その市域は、東西5.7km、南北5.6km、面積は21.03km²で、名古屋の中心部からおよそ15kmという通勤、通学などに恵まれた位置にあります。

本市の地形は、北部の丘陵地帯、中央部の沖積平野、南部の洪積台地に分けることができます。北部丘陵は、森林公園に代表されるように緑地帯が多く、ため池が大小いくつも見受けられ、市内を東西に流れる矢田川の右岸は、肥沃な沖積平野となっており、また、左岸の本地ヶ原では、古期洪積層の堆積面がよく残存しており、三段の段丘面が広がっています。

また、南部、北部丘陵の地質は、新生代第三紀鮮新世に属する堆積層で、瀬戸層郡矢田川累層と呼ばれ、れき層、砂層、シルト層を主体として、火山灰や亜炭層を伴っています。丘陵部によって囲まれた低地は、矢田川の開析によってできた平地部であり、沖積層が堆積しています。

本市の地質の特徴は、ほぼ水平構造であるため、断層、しゅう曲が少ないということと、ほとんどの地盤が洪積層で占められているため、矢田川両岸の沖積砂層の比較的厚い氾濫原を除いては、重量構造物の建造に比較的向いています。

